

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	4	9	百日咳	1	0
RSウイルス感染症	13	6	ヘルパンギーナ	165	184
咽頭結膜熱	38	37	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	4	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	34	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	226	253	流行性角結膜炎(はやり目)	14	16
水痘	34	47	細菌性髄膜炎	1	0
手足口病	279	426	無菌性髄膜炎	2	2
伝染性紅斑(りんご病)	0	1	マイコプラズマ肺炎	1	3
突発性発しん	56	49	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

- 手足口病 報告数:279件(前週:426件)
地区別:菊池、水俣、天草
年齢別:1歳 127件(45.5%)
- 感染性胃腸炎 報告数:226件(前週:253件)
地区別:菊池、有明、人吉
年齢別:1歳 43件(19.0%)
- ヘルパンギーナ 報告数:165件(前週:184件)
地区別:菊池、宇城、天草
年齢別:1歳 48件(29.1%)

※手足口病もヘルパンギーナも報告数は減少傾向にありますが、熊本県全体では、引き続き警報レベルにあり、引き続き注意が必要です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所			4	13	46	5	67		27		32			10		2		
山鹿保健所			8		8	7	11		2		3		*	*				
菊池保健所		12	8	14	58	6	55		12		50	1		1				
阿蘇保健所				1			1						*	*	1			
御船保健所					5						1		*	*				
八代保健所	4			3	18		9		3	1	4							
水俣保健所				1	7		22		2		4	2	*	*				
人吉保健所				1	18	7	25				8		*	*				
有明保健所		1	5		44	3	29		6		21			2				
宇城保健所			4	9	16	3	23		2		25	1	*	*				
天草保健所			9	4	6	3	37		2		17			1				1
計	4	13	38	46	226	34	279	0	56	1	165	4	0	14	1	2	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	4							1	1													2
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	13		4	4	2	2	1					2	4									
咽頭結膜熱	38		2	4	6	5	3	5		5	2	4	2									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46			1	1	5	7	10	4	2	3	6	6		1							
感染性胃腸炎	226	1	35	43	32	23	13	17	12	8	8	6	13	1	14							
水痘	34		2	8	7	7	3	3		1	3											
手足口病	279	5	37	127	52	25	11	10	2	1	1	3	2		3							
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	56	2	30	22	2																	
百日咳	1		1																			
ヘルパンギーナ	165	2	14	48	37	27	13	11	6	1	4	1	1									
流行性耳下腺炎	4							2	1	1												
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	14													1	1	1	4	5	2			
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	1																					1
無菌性髄膜炎	2				1		1															
マイコプラズマ肺炎	1																					1
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- ヘルパンギーナ:菊池、水俣、宇城、天草
- 手足口病:熊本市、山鹿、菊池、八代、水俣、人吉、有明、宇城、天草

手足口病、ヘルパンギーナに引き続き注意が必要です

【手足口病、ヘルパンギーナに引き続き注意が必要です】

手足口病もヘルパンギーナともに報告数は減少傾向にありますが、熊本県全体では、引き続き警報レベルにあり、また、国内の患者数の報告数は増加傾向にあり、引き続き注意が必要です。

○ヘルパンギーナ

症状:突然の39℃以上の高熱が2日~4日続くノドの痛み(咽頭痛)
まだうまく症状を伝えられない子供の場合、以下のような様子の変化があります。
・不機嫌 ・食欲不振、水分と取らない ・ミルクや母乳を飲まない

潜伏期間:2~4日(ウイルスが体内に感染して発症するまで)

○手足口病

症状:発熱、食欲低下、倦怠感、口のなかの痛み(口内痛)
手足にはあまり痛みの症状は出ませんが、口内は痛みが出やすいのが特徴。

潜伏期間:3~5日(ウイルスが体内に感染して発症するまで)

【予防方法】

- ・有効なワクチンは存在しません。
- ・手洗いは流水と石けん(出来れば液体石けん)で十分に行いましょう。
- ・タオルの共用は避けましょう。



どちらの病気も子どもがかかりやすい病気ですが、大人もかかる可能性があります。大人がかかった場合重症化することもあり、予防対策はしっかりと行いましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供:熊本県健康福祉部 健康危機管理課